

審査 ピックアップ 議案 第61号

菊川市一般会計補正予算（第2号）

令和6年度の事業を行うにあたり、当初の予算に過不足が生じたものなどについて、その理由などを確認し、課題や問題点などについても議論しました。

審査における質疑内容や議員からの意見は次の通りです。

◎ 茶園管理推進事業費、新しい2つの補助金についての説明とその要綱は。

△ 1つ目は、菊川茶海外輸出安心安全対策事業費補助金で、農業分野における食品安全、環境保全、労働安全への取組についてGAP制度があり、認証機関に認められることによりGAP認証を得ることができる。GAP認証の有効期間は2年で、2年に1回の更新審査費用に対しての一部補助となる。2つ目は、菊川茶経営安定化対策事業費補助金で、こちらについては突発的に発生した茶工場の機械

修繕、もしくは摘採機等の修繕の補助となる。これは茶工場が行うメンテナンスや計画的な修繕、また保険を使った際には補助の対象外とする内容となっている。補助金の交付要綱は、いずれも新たな補助事業となるため新規の補助要綱となっている。

一茶の価格低迷でGAP更新費用補助と突発的に発生した茶工場の機械修繕に対して2つの補助事業が挙げられたが、これは適切な救済措置であると思う。

一茶の価格がかなり低く、茶業者から悲鳴が出ていることも事実で、やめる茶業者が多

いと聞いている。この補助事業に関しては、補助をして少しでも茶業者の息継ぎ、先につながるのであればよいと思う。ただ、事業効果については精査をしていく必要を感じた。



菊川市内の茶畑

◎ 文化会館整備事業費、大ホールの空調更新工事について、空調の作動不良はいつ発生し、この工事は更新計画ではどのようになっているか。

△ 大ホールの空調更新工事は、昨年の11月8日に行った空調設備の点検で、エアハンドリングユニットのうちの外気ダンパ、排気ダンパの不具合が確認され、大ホールの舞台用と客席前方用のエアハンドリングユニットで温度調整ができない状況となっている。令和10年度から順次、エアハ

ンドリングユニット全体の更新計画であったが、今回はそのうちの排気ダンパ、外気ダンパの部品交換で対応しようとするもの。

公共施設管理計画は細かい部分も含め、どのタイミングでどれをやるのが一番効果的なのかという議論をする必要がある。

計画的にといっても急に壊れて困ることはある。修繕に半年かかっているのか。補修を安価で10回やるなら、1回でしっかり直すということを考えていく必要がある。古い施設をいくつも維持し、修繕を重ね経費をかけ続けていくのなら、将来を考え統合して新しい物を作るといった方向転換も検討する必要がある。



菊川文化会館アエル